

島本町社会教育委員会議会議録

平成31年度 第1回 定例会

開催日時	平成31年4月10日(水) 午後2時～午後3時40分	
開催場所	島本町役場 地階 住民委員会室	
	社会教育委員 [9 名] 天 沼 由 紀 子 藤 目 政 広 頼 田 和 典 江 口 隆 子 中 村 智 谷 洋 子 水 無 瀬 忠 成 筒 水 憲 治 竹 田 恵 子	教育委員会事務局 [10 名] 持田 教育長 岡本 部長 川畑 次長 奥野 生涯学習課長 矢野 主幹兼図書館長 浦上 参事兼体育館長 三津井 歴史文化資料館長 西村 主査兼社会教育主事 西尾 主査 小林 係員
議案事項		
議 案	(1) 青少年人権教育事業の実施について	[資料1]
	(2) 生涯学習事業の実施について	[資料2]
	(3) 図書館事業の実施について	[資料3]
報 告	(1) 平成31年度教育・保育重点目標及び関係機関に対する指示事項について	[資料4]
	(2) 平成30年度各種事業の実施結果について	[資料5]
その他	(1) 歴史文化資料館事業について	[資料6]
	(2) 平成31年度生涯学習課年間事業予定について	[資料7]

【会議録】

平成31年度第1回島本町社会教育委員会議

- 辞令交付
- 教育長あいさつ
- 教育委員会事務局教育こども部生涯学習課の体制及び職員の異動について

【議 題】

(1) 青少年人権教育事業の実施について

事務局： 青少年人権教育事業の実施について、説明。資料1

委 員： 講師は何名配置されるのか。

事務局： 平成30年度は1回あたり4人の講師を配置してきたが、近年参加が増える傾向にあり、部屋を増やす場合があること等から、平成31年度からは1回あたり5人の講師を配置する。

議 長： 5人でシフトを組んでいるということか。

事務局： 10人以上の講師が登録されており、その中からシフトを組み、1回あたり5人の講師を配置している。

議 長： 参加者が多い校区はどこか。

事務局： 第一小学校区と第一中学校区が最も多い。第四小学校からも参加がある。第一小学校区から第二中学校へ進学した生徒も参加することがある。

委 員： 定員は25人程度とあるが、実際はどれぐらいの参加があるのか。

事務局： 1日の参加が25人を超えることもあるが、時間内で自由に出入りすることも可能であり、また、30分間勉強すれば、後の時間は自由に過ごしても良いというルールとしている。そのため、一つの部屋に一度に25人を超えることはほとんどない。また、一度に人が多くいる場合は、別の部屋を設け対応している。

議 長： 申込みは必要ない事業ということか。

事務局： 事前の申込みは必要ない。参加者数を把握するために、来館時に名前などを書いてもらう。また、参加者の学習内容を確認するための個票もある。

議 長： 保護者と連絡を取ることはないのか。保護者が知らないまま参加していることもあるのか。

事務局： 保護者が知らないまま参加している可能性はある。定着した参加者については講師は名前も把握している。迎えに来た保護者から意見をいただくこともある。

議 長： 保護者向けにお知らせを出すことはないのか。

事務局： お知らせは出していないが、今後、検討する。また、講師から参加者に対し、保護者に「学習支援の場」に行くことを言ってから参加するようにと声かけをすることは可能なので、講師に打診する。

議 長： 本件について、承った。

(2) 生涯学習事業の実施について

事務局： 生涯学習事業の実施について、説明。資料2

副議長： 無料の教室について、募集が若干名とあるが、どの程度の新規参加者を想定しているのか。若干名という表現はあいまいではないのか。

事務局： 和太鼓教室に関しては、現在の登録数が、少年少女の教室が15人、青年の部が19人、一般の部が25人となっている。継続している方が多く、大きな変動はないと想定している。4月6日に1回目の和太鼓教室が済み、一般の部の参加者は17人と聞いている。

議 長： 平成30年度から登録している方で17人か。新規登録者は含まれているのか。

事務局： 両方含み17人の参加者となっている。

委 員： 年長者学級の内容がたいへん興味深い。1回の学級で100人に満たなかった場合は、当日に対象外の人に来て参加できるのか。年長者の親を持つ子どもにも役に立つ内容と思われる。年長者学級とは別にも開催してもらいたい。

事務局： 当日、定員に余裕があった場合は参加を受け付ける。年齢の確認は行っていない。年長者以外の人を対象にした事業については検討する。

委 員： 先着100人とあるが、実績はどれぐらいか。

事務局： 平成30年度の前期は4回で221人、後期は4回で173人の延べ参加者があった。それぞれ50人程度参加していることとなる。

議 長： 1回だけの参加でもいいのか。

事務局： 年長者学級に登録する必要があるが、参加については全回参加必須ではない。

委 員： 登録しなければ参加できないのか。

事務局： 原則として、事前に申込みが必要である。場合によっては、当日定員に余裕があるなどすれば参加を認めることもあるが、その際に登録は必要である。

委 員： 実績から判断すれば毎回当日参加できることとなる。

議 長： アポ電のようなテーマであれば、全町的に参加できるよう開催してもらいたいと個人的には考える。自分が所属する自治会でもこのような企画を進めている。島本町でも昨年は5件程度被害があったそうである。話を聞いていても被害が発生している。
本件について、承った。

(3) 図書館事業の実施について

事務局： 図書館事業の実施について、説明。[資料3](#)

議 長： ふれあいセンターは諸室の使用が制限され、団体としても戸惑っている。図書館の事業についても、何とかやり方を工夫され、頑張っているいろいろ実施していただきたい。
本件について承った。

【報 告】

(1) 平成31年度教育・保育重点目標及び関係機関に対する指示事項について

事務局： 平成31年度教育・保育重点目標及び関係機関に対する指示事項について、説明。[資料4](#)

副議長： 文化祭はかなり制約を受けるのではないか。展示も場所が限られる。今のところ何パーセント程度縮小する見通しであるのか。

事務局： 4月22日に役員会が開催されるため、そこで検討する。個人的には中止はないと考えているが、その方向も含めて検討することとなる。

委 員： 青少年健全育成大会はどうなる見通しであるか。

事務局： 青少年指導員協議会主管で実施している事業である。たいへん多くの方に来場いただき、定員を大きく超えたため参加できない方も発生した。そのため、内容は同様のままで、回数を増やす方向で考えている。具体的には、平成31年度の青少年指導員協議会が始まってから、会の中で検討していくこととなる。

議 長： 社会教育委員会議でこれまで出た意見についても、青少年指導員協議会にもお伝えいただきたい。
本件について、承った。

(2) 平成30年度各種事業の実施結果について

事務局： 平成30年度各種事業の実施結果について、説明。[資料5](#)

議 長： 「なの花のおはなし会」について、成人の方を対象にした図書館

事業で、なかなか良い。

委員： 社会教育委員の参加もあった。

委員： 参加して良かった、勉強になった。

委員： マニアックな企画ではあったが、図書の修理ボランティアの方など、初めて来ていただいた方もいた。図書館事業に関わるボランティアの方が増えるように、新しいボランティアの募集に図書館も取り組んでもらいたい。重点目標の中にも、団体との連携や研修会についての記載がある。ボランティアのための研修や、受講してボランティアを養成できるようなものを実施し、図書館事業を充実させていっていただきたい。昨年度の会議で、島本町では本が好きな子の割合が全国平均より低いことを知り、たいへんショックを受けた。学力も体力も全国平均より劣っていないのに、本が好きな子の割合は下回っていた。読書活動は心を耕すものである。これからも大事にしていきたい。

事務局： 図書館は、町の文化教養の拠点の1つと考えている。AIの発達など、社会は大きく変化しているが、本に触れることで豊かになることもあると考えている。着任直後ですべてを把握しているわけではないが、尽力していく。

議長： コミュニケーション能力を付けてもらいたい。自分の言葉で表現するためには読書量も影響する。図書館事業は大事な事業である。

副議長： 「スポーツレクリエーション祭」について、アンケート結果を見ると、時間を短くしてほしいという意見と長くしてほしいという意見がある。また、3歳から5歳が参加できる種目を増やしてほしいという意見もある。小中学生中心の事業として実施していると思われるが、どのように考えられているのか。

事務局： 小中学生中心と考えてはいるが、未就学児が参加できる種目についても、どのようにしていくのか検討するよう、実行委員会にお伝えする。

委員： 実際には3歳から5歳の子どもが参加できる種目はある。参加者の認識が薄いのではないのか。

議長： 周知の仕方に工夫が必要なのではないか。最近は父親も子育てに積極的に関わるようになってきている。家族で参加される場合もある。スポーツ祭よりも小さい子が参加しやすい要素もある
本件について、承った。

【その他】

- (1) 歴史文化資料館事業について

事務局： 歴史文化資料館事業について、説明。資料6

委員： 「むかしの暮らしと農家の仕事」展について、自分にはなじみのある足踏みミシンが昔の仕事に位置付けられていることにショックを受けた。「昔」と一言でまとめても、子ども達には自分の親の頃のことか、祖父母の頃のことか分かりにくい。家に帰って親が質問を受けても、親も分からないこともある。8月に「ちょっと昔に使われた生活用品」の展示を行う予定とのことだが、副題に昭和初期であるとか、何か付けた方が分かりやすいのではないか。

事務局： 意見を踏まえ、展示方法を検討する。

議長： 本件について承った。

(2) 平成31年度生涯学習課年間事業予定について

事務局： 平成31年度生涯学習課年間事業予定について、説明。資料7

議長： 本件について、承った。

※人権文化センター運営委員会委員の推薦について、議長を推薦することに決定。

以上